

(仮称)学習文化交流施設

みんなで文化交流の^{もり}杜をつくる会 ワークショップ報告書＜資料編＞

目 次

1. ワークショップ実施要項	1
2. ワークショップニュース	5
3. 検討結果	
3-1 検討課題の整理	9
3-2 敷地の分析	10
3-3 交流広場	11
3-4 図書館	12
3-5 文化ホール	13
3-6 子育て支援施設	14
3-7 各施設をつなぎ交流を促す空間	14

1. ワークショップ実施要項

第1回「みんなで文化交流の杜をつくる会」 ワークショップ

- 目 的 計画の概要を知る、検討するテーマを洗い出す
 - 実施日時 10月3日（日） 13：00～16：00
 - 場 所 鹿角市交流センター
 - タイムスケジュール
 - 13：00 開会の挨拶 市担当者
 - 13：05 今日のワークショップの目的と進め方について 谷津教授
 - 13：10 計画の基本構想について 市担当者
 - 13：30 グループ責任者を決め、WS開始
- 計画で疑問に思うこと、検討が必要と思われるテーマを洗い出します。

検討内容：

1. 基本構想で疑問に思うことはあるか
2. 基本構想で抜けているものは何か
3. 外部の空間の使い方についてはどうか
4. 町の活性化につなげるには何が必要か
5. 市民がここで楽しく過ごすためには何が必要か
6. 運営について市民参加ができるか
8. 子供から大人まで、弱者にも配慮するには何が必要か
7. その他

進め方

- ・各自カードに計画の疑問点を20以上あげてください。 赤のカード
- ・各自検討が必要と思われるテーマについて20以上あげてください。 緑のカード
- ・カード1枚に1テーマを記入してください。
- ・グループ毎に、同じ意見のカードをひとまとめにして整理します。
- ・特に重要と思うテーマを5つずつあげてください。
- ・5つのテーマを各自の持点10でそれぞれ評価します。
- ・テーマの重要性をグループでとりまとめ、模造紙に分かりやすく描きます。

- 15：00 グループでの意見のとりまとめ
各グループで発表者を決め、プレゼンテーションの準備をします。
- 15：10 グループ意見の発表と討議
各グループ5分程度で発表していただき、質疑応答を行います。
- 15：45 まとめ 谷津教授
- 15：55 次回の予告と閉会の挨拶 市担当者
- 16：00 終了

第2回「みんなで文化交流の杜をつくる会」 ワークショップ

■ 目 的 敷地を視察し、外部空間の使い方について検討する。

■ 実施日時 10月24日(日) 13:00~16:00

■ 場 所 花輪市民センター

■ タイムスケジュール

13:00 開会の挨拶 市担当者

13:05 前回のまとめと今日のワークショップの目的 谷津教授
敷地で確認してもらいたいポイントと注意事項
敷地ではできるだけグループで行動してください。

13:10 移動と敷地視察
敷地に立って、敷地の持つ可能性と周辺に対する必要な配慮について確認してください。
配布のメモカードに次の項目について気がついたことを記してください。
①一番活かしたいことは何ですか？
②一番心配なことは何ですか？
③建物の外部（広場・駐車場・緑地・アクセス）についてイメージがあれば提案してください。
④建物をイメージしながら周囲の環境に対して配慮すべきことを指摘してください。
カードは視察後グループごとにまとめて提出してください。

14:20 前回グループで検討テーマを整理しました。今回はこのいくつかを検討します。
大きく分けると：①市民の理解・PR ②管理・運営 ③既存施設との関連 ④交流広場のあり方 ⑤外部空間の活用（周辺環境・アクセス・緑化）⑥内部空間（文化ホール・図書館・子育て支援センター・その他の交流空間）となります。

検討内容 各グループ必須テーマ
1. 外部計画の広場と緑地
2. 市民交流空間の使い方

進め方
・各自、気がかりな点、疑問な点、具体的な提案をカードに記入してください。
・カード1枚に1項目記入してください。
・グループ毎に、同じ意見のカードをひとまとめにして整理します。
・意見の重要性をグループでとりまとめ、模造紙に分かりやすく配置します。
・共感できる意見に各自10ポイントで投票してください。（グループ別→黄色）

15:30 グループ意見の発表と討議
各グループ5分程度で発表していただき、質疑応答を行います。
最後に共感できる意見に投票します。（全体→青）

15:50 まとめ 谷津教授

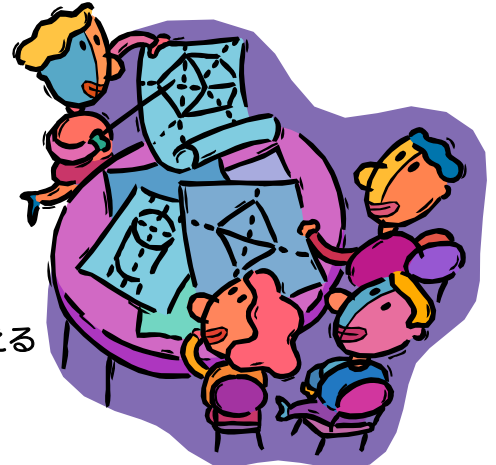
15:55 次回の予告と閉会の挨拶 市担当者

16:00 終了

第3回「みんなで文化交流の杜をつくる会」 ワークショップ

- 目 的 施設の機能と空間構成について検討し、市民みんなで活用できる方策を考える
- 実施日時 11月14日(日) 13:00~16:00
- 場 所 鹿角市交流センター
- タイムスケジュール

- 13:00 開会の挨拶 市担当者
- 13:05 前回のまとめと今日の
ワークショップについて 谷津教授



- 13:10 **第1テーマ：施設の機能についてあるべき姿を考える**
まず、今日の発表者を決めてから始めてください。

検討内容

各グループのテーマ

A：図書館への提案（時代に対応した図書館とは）

B：ホールへの提案（中途半端にならないホールとは）

C：子育て支援センターへの提案（市民と共に育つ施設とは）

D：市民が活用できるさまざまなスペースの提案（各施設をつなぎ交流を促すには）

*他グループへの提案も可能です。カードに意見を記入し検討グループへ提出してください。

進め方

- ・各自、気がかりな点、疑問な点、具体的な提案をカードに記入してください。
- ・カード1枚に1項目記入してください。
- ・グループ毎に、同じ意見のカードをひとまとめにして整理します。
- ・意見の重要性をグループでとりまとめ、模造紙に分かりやすく配置します。

- 14:45 **第2テーマ：市民みんなの施設にするには何が必要かを考える**

花輪だけの施設にはならないように、全市的な施設にするためには、既存施設との連携、市民の意見の反映、PR、ニーズの把握などが必要です。

具体的にどのような方策が考えられますか。

進め方

進め方は前と同じです。まず考えられることをカードに記入してください。

- ・共感できる意見に各自5ポイントで投票してください。（グループ別→赤色）
- ・重要課題ごとにランキングして指定の用紙にまとめてください。

- 15:15 グループ意見の発表と討議

第1テーマ：各グループ5分程度で発表していただき、質疑応答を行います。

第2テーマ：ランキングされた方策を書いて貼りだしてください。

最後に共感できる意見に1人5ポイントで投票します。（全体→青）

- 15:50 まとめ 谷津教授
- 15:55 次回の予告と閉会の挨拶 市担当者
- 16:00 終了

第4回「みんなで文化交流の杜をつくる会」 ワークショップ

- 目 的 市民が使いやすい施設の運営方法とその組織について検討します
- 実施日時 11月28日（日） 13：00～16：00
- 場 所 鹿角市役所 第1・2会議室

■ タイムスケジュール

- 13：00 開会の挨拶 ・ ・ ・ 市担当者
- 13：05 前回のまとめと今日の
ワークショップについて ・ ・ ・ 谷津教授
- 13：10 個別テーマ：望ましい運営について行政と市民の役割という面から検討します
まず、今日の発表者を決めてから始めてください。

検討内容

個別テーマ

A：図書館への提案

B：ホールへの提案

C：子育て支援センターへの提案

D：市民が活用できるさまざまなスペースへの提案

※他グループへの提案も可能です。カードに意見を記入し検討グループへ提出してください。

進め方

- ・各自、気がかりな点、疑問な点、具体的な提案をカードに記入してください。
- ・カード 1 枚に 1 項目記入してください。
- ・グループ毎に、同じ意見のカードをひとまとめにして整理します。
- ・意見の重要性をグループでとりまとめ、模造紙に分かりやすく配置します。
- ・既存施設との関連なども考慮してください。
- ・利用率や利用人数なども想定してみてください。
- ・市民のニーズを継続的に把握し活かすには何が必要か？
- ・時代の変化に対応するためには？

- 14：00 共通テーマ：利用者層も利用時間も違う空間は、全体としてどう運営するのが
望ましいですか

まとまりのある施設として相乗効果を発揮するには何が必要か検討します。

進め方

- ・進め方は前と同じです。まず考えられることをカードに記入してください。
- ・提案を指定の用紙にまとめてください。

- 15：00 グループ意見の発表と討議

第1テーマ：各グループ5分程度で発表していただき、質疑応答を行います。

第2テーマ：提案を書いて貼りだしてください。

最後に共感できる意見に1人5ポイントで投票します。（全体→青）

- 15：35 WS全体のまとめ ・ ・ ・ ・ ・ 谷津教授
- 15：55 今後の予定と閉会の挨拶 ・ ・ ・ ・ ・ 市担当者
- 16：00 終了





第 1 回 ワークショップ スタート！

10月3日（日）、午後1時から第1回「みんなで文化交流の杜をつくる会」のワークショップが、鹿角市交流センターで開催されました。児玉一市長挨拶の後、東北工業大学建築学科の谷津憲司教授指導で、3時間にわたって熱心な話し合いが行われました。

「みんなで文化交流の杜をつくる会」は、平成27年に開館を予定している(仮称)学習文化交流施設の望ましいあり方を検討し、これから選定される設計者に市民の意見として伝えます。「みんなで交流文化の杜をつくる会」ニュースは、その検討の様子を市民の皆さんにお知らせするもので、4回発行します。

どうぞ、ご愛読くださるようお願い申し上げます。



各グループが検討結果を発表

利用促進方策、建物配置、交流空間など検討事項を抽出

第1回ワークショップは、市民公募のみなさんを始め、東北工業大学の大学院生、市職員など30名が参加し、4つのグループに分かれて行われました。今回は、計画の概要を知り、検討が必要なテーマを洗い出すことが目的で、市担当者の計画の説明の後、計画への疑問、提案など自由に出し合い、検討する重要課題を選び出しました。

施設の利用促進に関する市民との連携、運営組織や利用料金、運営方法といったソフト面の提案から、建物配置や安全なアクセス方法、駐車方式や台数、交流広場の利用、ホールの特徴、緑化などのハードな面に至るまで検討課題は様々です。それぞれのグループはこれらを分類し発表しましたが、最後に全員で検討項目の重要度を評価して次回につながる、課題の整理を行いました。次回は、建設敷地を視察し、課題ごとに検討を行います。



意見の取りまとめと分類



グループ代表が図を説明

ワークショップはこれから次の日程で進められます。

- 第2回「現地確認・テーマごとの検討・・・1」
10月24日（日）午後1時～ 【場所：花輪市民センター】
- 第3回「重要テーマごとの検討・・・・・・2」
11月14日（日）午後1時～ 【場所：鹿角市交流センター】
- 第4回「施設運営方法の検討・まとめ」
11月28日（日）午後1時～ 【場所：鹿角市役所】



テーマの重要度をみんなで評価

これからでもワークショップへの参加は可能です。参加ご希望の方は政策企画課までお問い合わせください。

このニュースへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

政策企画課政策推進班

TEL 0186 - 30 - 0292

学習文化交流施設

検索

E-mail : machi@city.kazuno.lg.jp

FAX 0186 - 30 - 1122



建設予定地の建物解体現場を視察！

10月24日（日）「みんなで文化交流の杜をつくる会」の第2回ワークショップが開催されました。今回のテーマは建設敷地や周辺環境を理解し、建設施設における具体的な市民活動内容を検討することです。

今号では、敷地視察や検討の様子をお知らせします。



ヘルメットを着用して敷地内を視察



解体中の屋上から敷地を視察

交流広場の活用や雪対策に様々なアイディア

第2回ワークショップの前半は、建物解体中の建設予定地を視察しました。本館屋上に昇って、現場責任者の説明を聞きながらの視察です。西病棟はほぼ解体が終了していましたが、解体工事は平成23年4月末まで続きます。

参加者は、建物周辺道路なども詳細に視察し、①活かしたいことは何か？ ②心配なことは何か？ ③建物の外部計画についての提案 ④周囲の環境に配慮すべき点は何かな？ といった視点で、市民ならではの意見をカードに書いて提出しました。意見は次回までにまとめられます。

後半は花輪市民センターに移動し、前回のワークショップで抽出した検討課題のひとつである、「外部空間の広場と緑地」「市民交流空間の使い方」について、4つのグループに分かれて検討しました。

外周の散策路や施設内の回廊、具体的なイベントでの活用方策、積雪時の対策、車のアクセス、緑や植栽のありかたなどさまざまな提案、アイディアが次々と飛び出し、発表が終わるごとに大きな拍手が起こりました。

ワークショップはこれから次の日程で進められます。

■ 第3回「重要テーマごとの検討」

11月14日（日）午後1時～ 【場所：鹿角市交流センター】

■ 第4回「施設運営方法の検討・まとめ」

11月28日（日）午後1時～ 【場所：鹿角市役所】



意見をカードに書いて分類



グループ内で意見交換



グループ毎に成果を発表

これからでもワークショップへの参加は可能です。参加ご希望の方は政策企画課までお問い合わせください。

このニュースへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

政策企画課政策推進班

TEL 0186-30-0292

学習文化交流施設

検索

E-mail: machi@city.kazuno.lg.jp

FAX 0186-30-1122



施設の空間構成を利用者の立場から検討！

11月14日（日）「みんなで文化交流の杜をつくる会」の第3回ワークショップが、鹿角市交流センターで開催されました。予定されている機能の空間構成について利用者の立場から検討するのがテーマです。また、今回のワークショップでは、市民みんなの施設にするには何が必要か、ニーズの把握、PRの方法等も合わせて検討されました。



時代に対応した図書館・中途半端にならないホールとは・・・

第3回のワークショップは、4つのグループがそれぞれ次のようなテーマで検討しました。

A：図書館への提案（時代に対応した図書館とは）

B：ホールへの提案（中途半端にならないホールとは）

C：子育て支援センターへの提案（市民と共に育つ施設とは）

D：市民が活用できるさまざまなスペースの提案（各施設をつなぎ交流を促すには）

Aグループでは、図書館の電子書籍など時代の変化に対応できる新しい空間や、学生が学習できる空間などの必要なスペースのほか、司書やボランティアの体制などについて検討されました。Bグループでは、音響等にも配慮した本格的なホールの実現について検討されました。ホールの利用率をあげる様々な形態が議論され、可動式座席が提案されました。また、快適に過ごせる客席環境を望む意見も出されました。

Cグループでは、既存施設との棲み分けが話題となり、人員の配置や基本構想では盛り込まれなかった新たな部屋や図書館の児童スペースとの緊密な関係を持つ空間構成の提案等があり、運営にも踏み込んだ検討がされました。Dグループには、3つの大きな機能を繋ぎ、交流を盛んにする空間の提案が求められ、展示ギャラリー、ミニレストラン、チャレンジショップなど小さなコーナーの巧みな活用法を示しました。



意見をカードに記入して分類、検討する



グループ毎に成果を発表

ワークショップはこれから次の日程で進められます。

11月28日（日）午後1時～【場所：鹿角市役所】

これからでもワークショップへの参加は可能です。参加ご希望の方は政策企画課までお問い合わせください。

このニュースへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

政策企画課政策推進班

TEL 0186-30-0292

学習文化交流施設

検索

E-mail : machi@city.kazuno.lg.jp

FAX 0186-30-1122



実行までの運営プログラムを作成！

11月28日（日）午後1時から、鹿角市役所で第4回ワークショップが開かれました。今回が今年最後のワークショップになりますが、前回と同様4つのグループで熱心な検討が行われました。今回は、これまで検討してきた施設機能をどのようにすればうまく運営できるのか、その実行主体とプログラム、そして市民の役割を検討しました。

今号では、その様子をお知らせします。

運営の主体と市民の役割は・・・

検討結果をより実現性の高いものにするために、運営の実行主体を考え、具体化までのアクションプログラムを描きました。プログラムでは、「誰が」（行動の主体）、いつ、どのような「アクション」（行動を）を起こすことが必要かを考え、そのときに、どのような人の、何が必要なのかを検討しました。必要なものとは、資金や知恵、労力、情報、機材等です。

Aグループは、図書館を主体に適切な司書の配置や職員の数試算、その養成や運営を円滑にするボランティアの役割を検討し、施設全体を統括するスーパープロデューサーの必要性を提案しました。

Bグループはホールの運営に関わる、事業主体を検討、年間を通じて効率よくホールを活用する仕組みと市民がそれを快適に利用できる方策を探りました。

Cグループは子育て支援に関して、既存の施設との連携を検討、スタッフ、父母、ボランティア、行政の協力で子供を総合的に支援する新たな仕組みを提案しました。また、総合的に案内できるコンシェルジュと施設全体をプロモーションできる人材の確保を強調しました。

Dグループは、各機能を繋ぐギャラリーや喫茶コーナーに関わるスタッフやテナントについて、早い時期からの行動について提案しました。

今年度のワークショップは終了しました。提案の内容は年内に報告書としてまとめられ、これから選定される設計者に伝えられます。

「みんなで文化交流の杜をつくる会」は来年度以降も開催を予定しています。来年度も多くの方の参加をお待ちしています。



アクションプログラムを描く

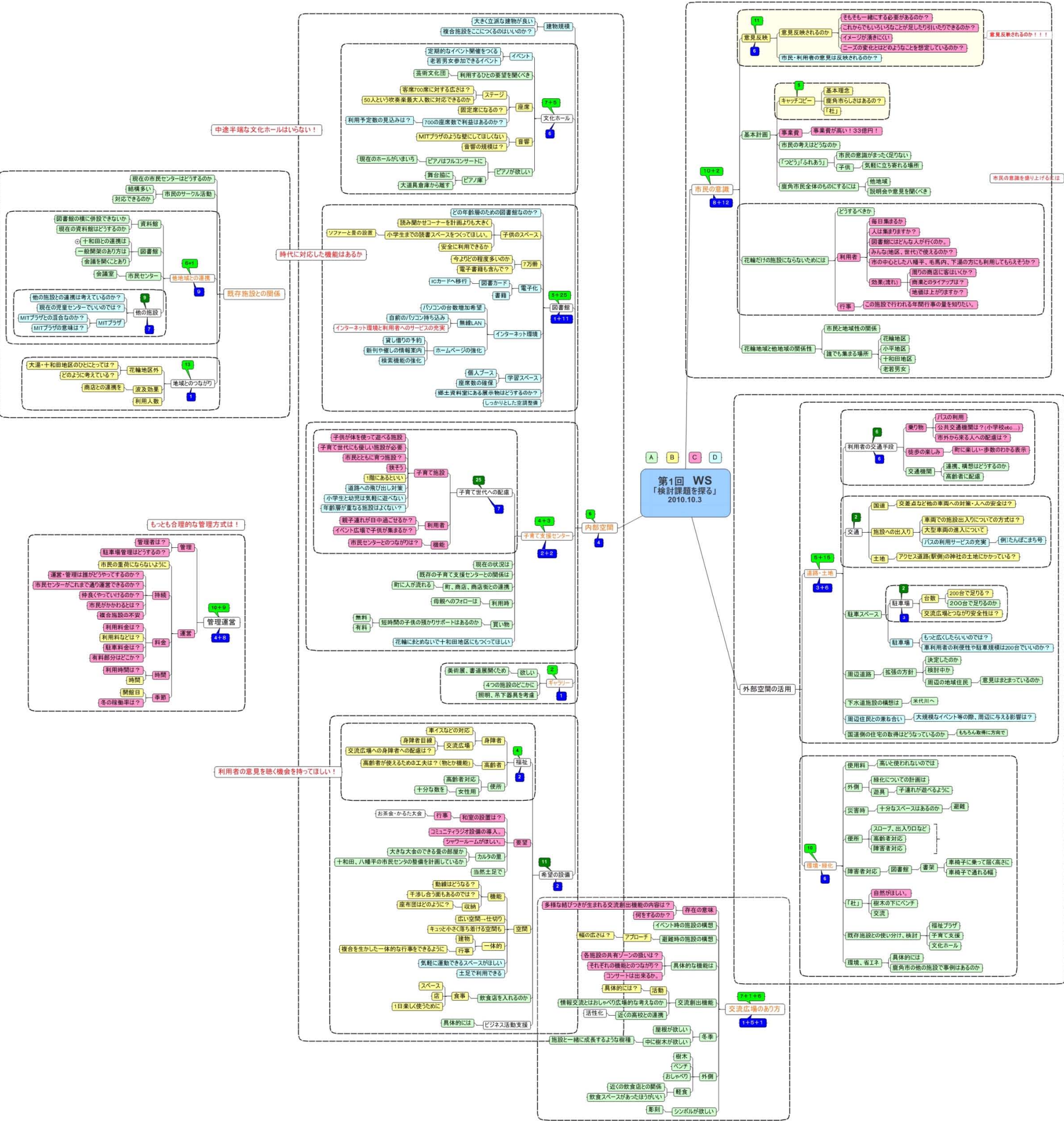


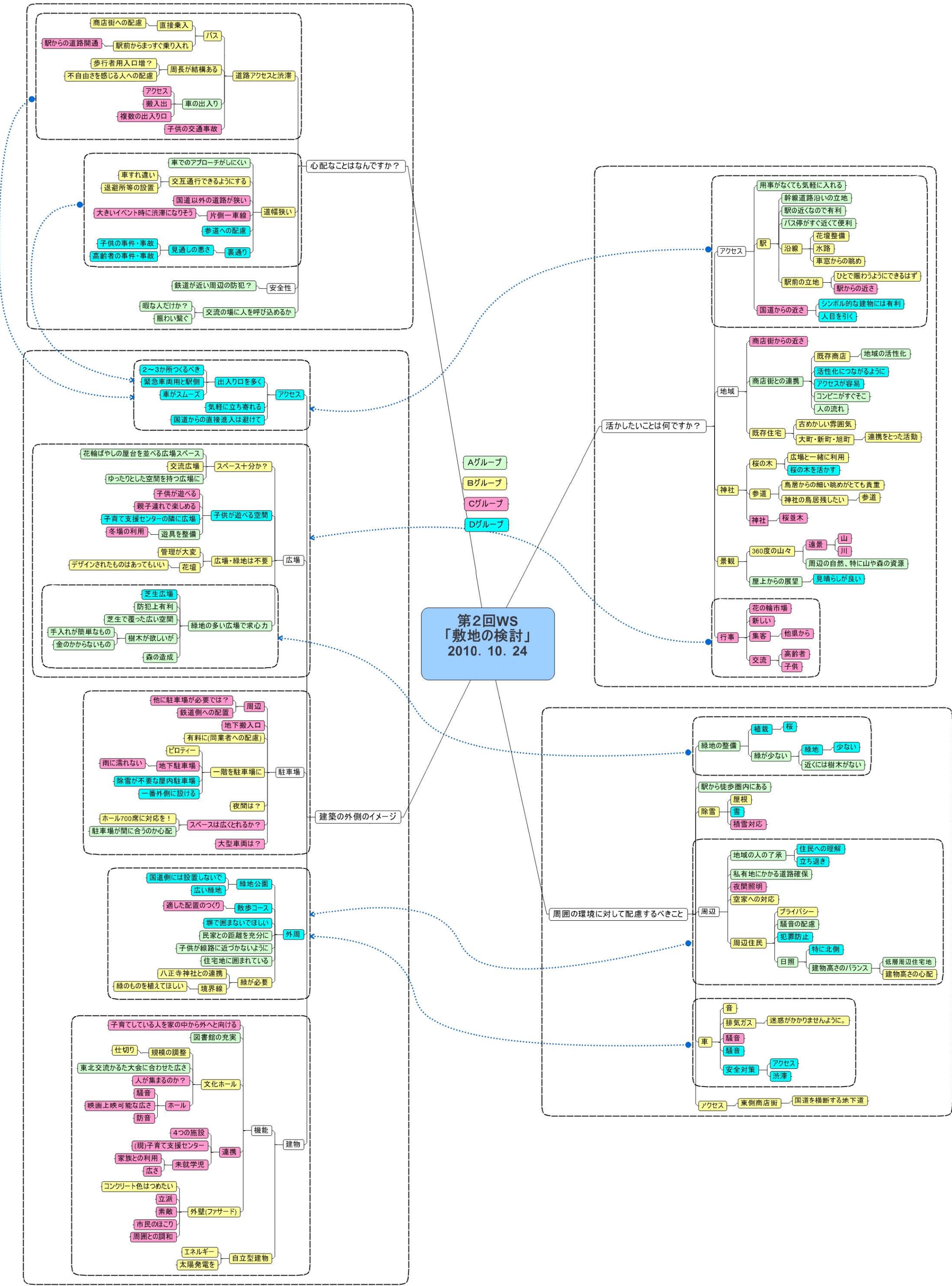
成果の発表



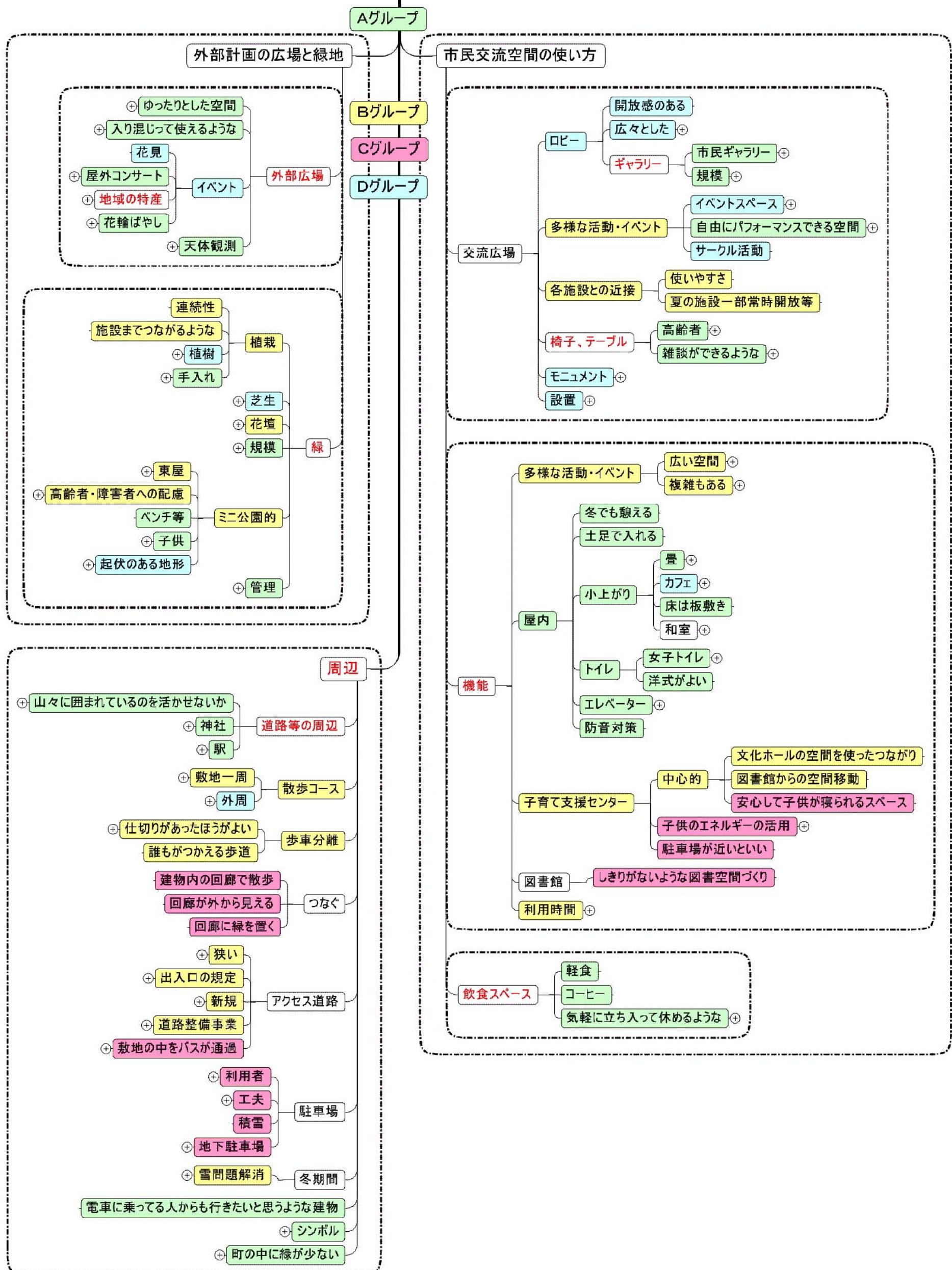
ワークショップ参加者

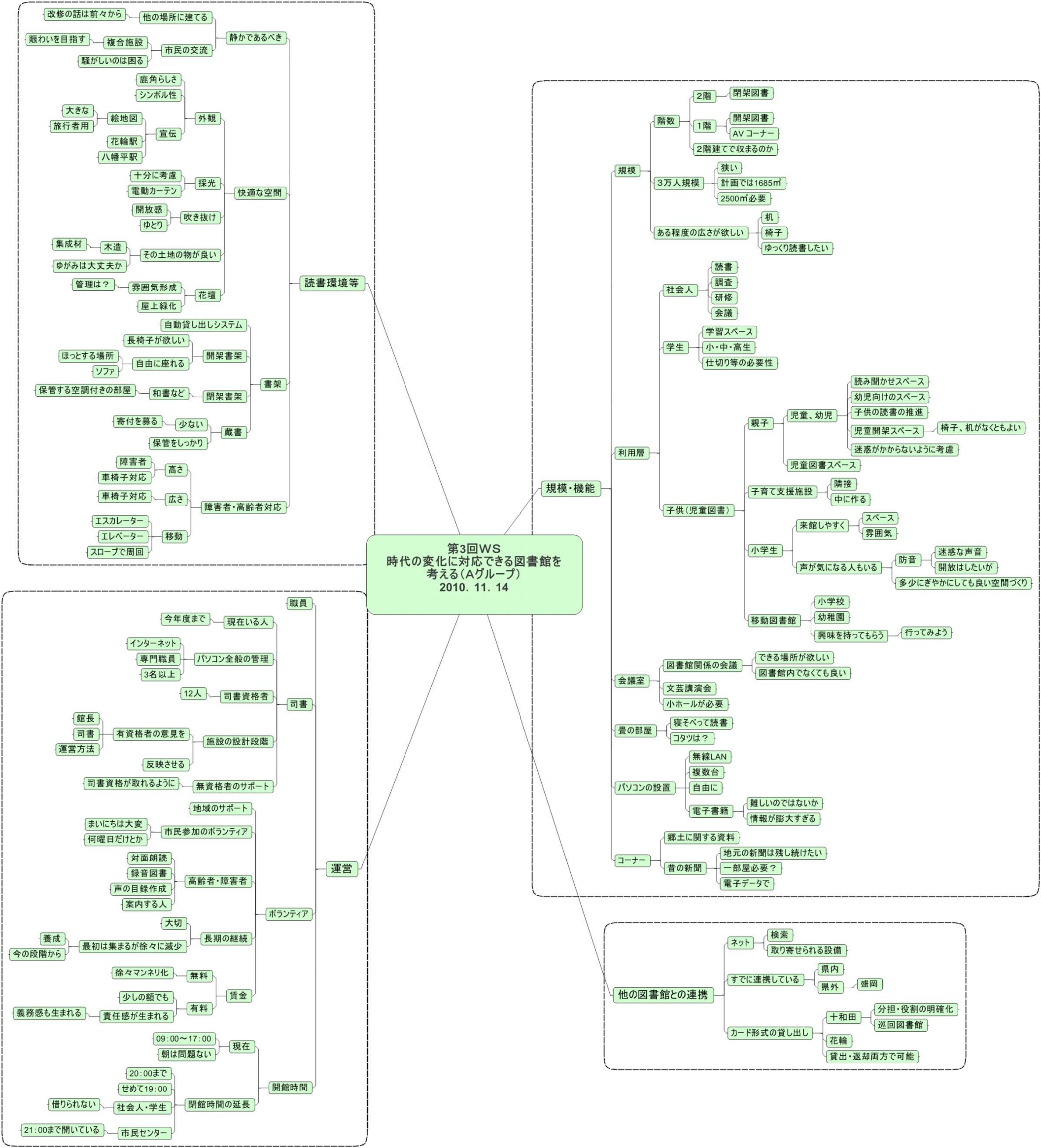
3. 検討結果
3-1 検討課題の把握

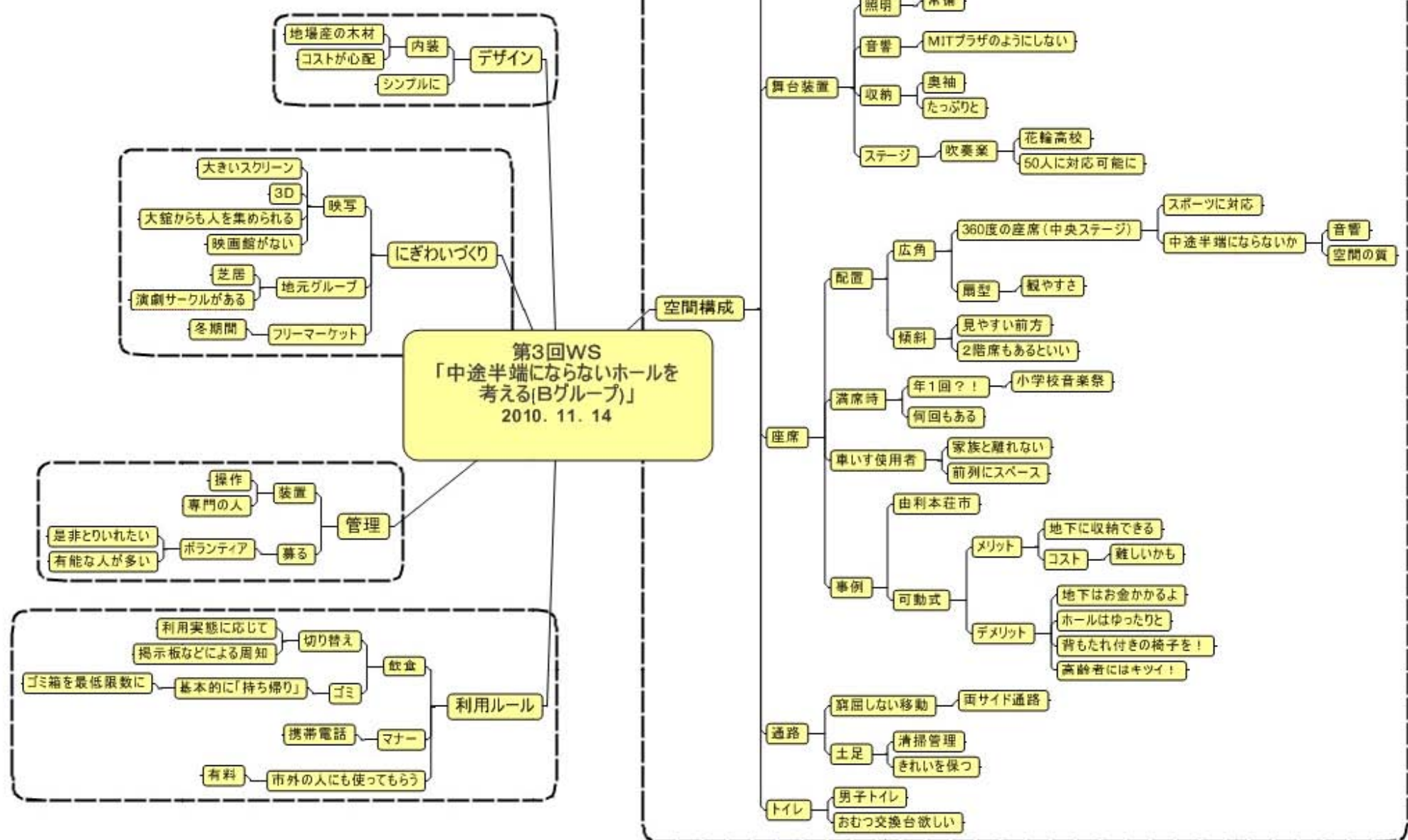




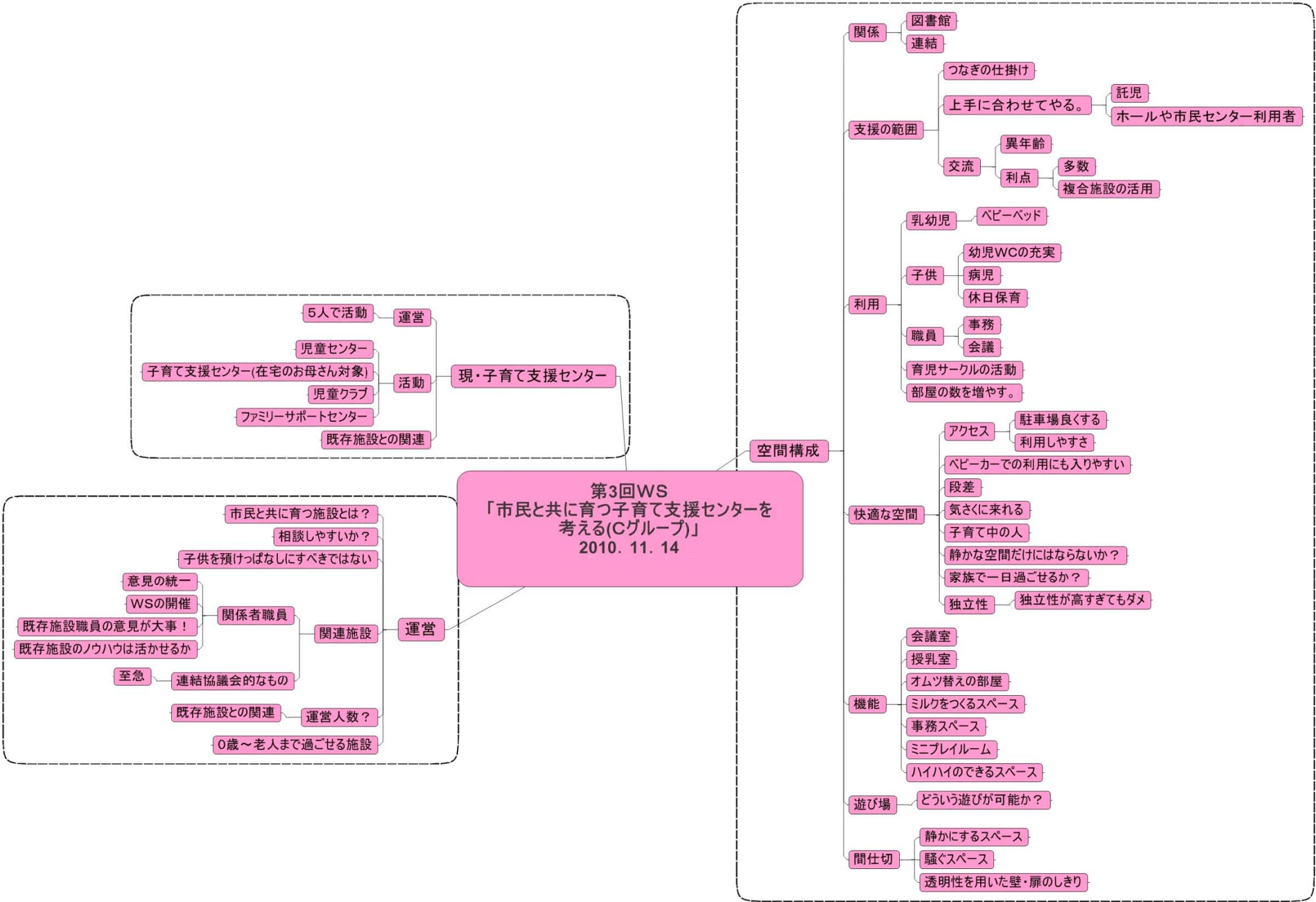
第2回WS
「交流広場を検討する」
2010.10.24







3-6 子育て支援施設



3-7 各施設をつなぎ交流を促す空間

